



かけはし

『剛魂健』を指標に一年を振り返る

早いもので今年も残すところ後わずかとなりました。今年は2月末から、新型コロナウイルス感染症が全国各地で流行し、3月から学校が休校となり錬心館の活動もやむを得ず中止と致しました。更に4月には緊急事態宣言が発令され心配しましたが5月末に解除され、6月から稽古活動を再開しました。約3カ月間、外に出たとしても出られない・稽古をやりたくてもできない、仲間に会いたくても会えない、孤独と不安な日々を過ごし、今まで当たり前だと思っていた、学校に行けること・剣道ができること・普通に生活が送れることがどれだけ有難いことかを学んだ一年となりました。今現在も、感染症の終息には程遠く、まだまだ予断は許せぬ毎日ではありますが、感染予防を徹底し今やれることを大切に努力精進し、来年の錬心館創立50周年の輝かしい未来に向かって頑張ってください。



年末年始の行事予定



《12月》

○ 館の行事

◎今年の稽古納めは各クラスの**最終日を稽古納めと致します。**

木刀教室 12月24日(木) 通常の稽古時間(10時～)

初心者・少年部合同 12月25日(金) 17時～18時

一般部(ママ剣も含む) 12月26日(土) 通常の稽古時間(16時～)

※強化選手の稽古納めは、強化予定表を確認して下さい

《1月》

○ 館の行事



10日(日) **新年稽古始め(対象:全門下生と家族) 午前9時集合**

9時30分～新年祈願祭(於 御霊地太神社殿) ※10時15分頃終了

- ・稽古着、袴、胴、垂を着けて集合(少年部・日の丸手拭持参)
- ・道場に入らず正面玄関集合(密を避け実施)
- ・一般部のみ初稽古を行います(40分程度)
- ・今年は、鏡開き(お汁粉)は中止

11日(月・祝)～15日(金) **寒稽古(月曜～金曜まで毎日実施します)**

- ・初心者クラス・少年部3年生以下 16時～17時
 - ・少年部4年生以上・強化選手 17時30分～18時30分
 - ・一般部(ママ剣も含む) 19時30分～20時30分
- ※木刀教室は通常通り(火・木)

16日(土) **一般部稽古休み**

19日(火)～令和3年 **前期通常稽古開始**

○ 大会・審査会

- 13日(水)～15日(金) 埼玉連寒稽古(一般・上尾)
- 17日(日) 四地区講習会(一般・川口)
- 23日(土) 第68回全日本剣道選手権大会予選会(一般・上尾)
- 23日(土) 第59回全日本女子剣道選手権大会予選会(一般・上尾)
- 24日(日) 北本市剣道連盟・1級審査会(小6以上・錬心館) 13時～
- 30日(土) 称号推薦認定会(一般・上尾)

○ 受入行事

24日(日) 北本市剣道連盟・1級審査会(北本市剣道連盟)

《2月》

○ 館の行事

※稽古活動休み=11日(木)・23日(火) 祝日の為

○ 大会・審査会

- 4日(木) 埼玉連月例稽古会(一般・上尾)
- 7日(日) 全日本都道府県対抗剣道優勝大会予選会(一般・上尾)
- 11日(木・祝) 段位審査会(初段～三段・上尾)

◎第43回日本剣道少年団研修会・体験作文埼玉県予選中学生の部に於いて田中詩織さん(中3)が1位入賞となり埼玉県代表で関東地区大会出場を決めました。おめでとうございます!

強さと希望に手をのばして

解脱錬心館 中学3年 田中詩織

「今、君達は試されている。」

新型コロナウイルスという脅威にさらされ、錬成会も大会も軒並み中止という判断が下される中、稽古すらも行えるかどうか危ぶまれていた二月。「これからはガマンの時期だ。しかし、これはチャンスだ。君達は試されている。今までの失敗や経験。そして、その度学んできたことともう一度向き合い、自分を見つめ直す機会だ。これは、人として強くなるチャンスだ。」先生は、そう私達におっしゃいました。

そして、自粛期間に入り、緊急事態宣言が出されると、稽古は停止となり道場も休館となってしまいました。毎日、自宅周辺を走り込み、素振りになわとび、筋力トレーニングで体をきたえる日々。稽古がいつ再開されるか分からない不安の中でも、今出来ることを全力で、自分に克つことを考え続けました。それでも、仲間にはやく会いたい。みんなで顔をあわせて稽古がしたい。そんな想いは、日増しに高まっていきました。その想いが強くなっていくにつれ、私はいままでの生活が、あの日常が、どれだけ幸せなものだったのか、尊いものだったのかを痛感していました。毎日朝早くから夜遅くまで稽古や勉強に励み、週末は各地の錬成会や大会に連れて行っていただいていた日々。私は、かけがえのない日常に改めて気づき、それは、あたりまえにあるものではないのだと知りました。

少しずつ、少しずつ。稽古再開に向けての準備がはじまり、道場に集まって一時間程でのトレーニングが出来るようになりました。ある日、トレーニングが始まる前に、私達は先生のもとに集合をしました。

「非常に残念ですが、今年の夏の全国大会は中止になりました。」

集まった私達に、先生はそう告げられました。少し前のように、稽古も何もできなかった頃に比べれば、少しずつだけ状況は好転している。そう思っていた私は、まさか全国大会が中止になるとは思ってもいませんでした。中学三年生。最後の夏の全国大会。その大きな目標は、稽古が出来なくなっても、他の試合がすべてなくなっても、一度もゆらぐことなく私の心の中にあり続けていたのです。その衝撃は、突如、心の一部が消失したかのようでした。一瞬で、悔しさや苦しさが私におしよせました。「どうして…。どうして!」そんな気持ちをすぐに受け止めることができず、私の気持ちは、沈んでいました。ふと、私の心に浮かんだのは、「試されている。」という先生の言葉でした。その言葉に私は、はっとしました。「私は今、試されているのだ。」と。私はここで、くじけてはいけない。逃げ出してはいけない。大会は、なくなってしまうけれど、それでも必ず明日は来る。今は、つらく悲しくても、明日への希望と進み出す原動力を絶やしてはいけない。ならば私は、出来ることを精一杯、今しか出来ないことを全力でやっっていこうと思いました。きっと、そうやって一日一日を過ごし、積み上げていくことができたなら、私はこの悲しみに打ち勝ち、強くなれるのではないかと感じたからです。

そうして私は、不安になったり、苦しくなったりするときも、決してあきらめず絶望せず、一日一日を大切に過ごし、少しずつ希望をつかめるようになりました。また、その日々の積み重ねは、私の心と体をだんだんと強くしてくれているように感じました。これからも、様々な局面で様々な問題や壁にぶつかることがあるかもしれませんが、そんな時でも、「試されている。」という先生の言葉、希望をもって、出来ることを精一杯、全力で取り組む日々の大切さを忘れず、乗り越えていきたいと思います。そうやって、強くなっていける人に私はなりたいと思います。



◎埼玉県体験作文 第2位

感謝の心

解脱錬心館 小学6年 岡谷瑚太郎

令和元年七月、日本武道館。

試合前、今まで経験したことのない緊張をしていました。そんなぼくに六年生の先輩たちは「今まで稽古してきた事を全部出そう！思い切ってやってきな！後は六年生に任せて！」先輩の言葉に助けられ、集中して精一杯試合に臨むことができました。結果ぼくたちは優秀賞になりました。「来年はぼくたち五年生の番だ！後輩たちを引張って後悔のない大会にするぞ！」と思っていました。そして迎えた令和二年新型コロナウイルス。多くの場合は症状が出なく大半の人は咳や微熱などの軽症で終わります。一方で高齢者や持病のある人には、肺炎が急に悪化して死んでしまう恐ろしいウイルスです。ぼくはこのウイルスによって色々なものを失いました。三月水戸全国大会中止 六月埼玉県大会中止 八月大阪全国大会中止 十月愛知近藤杯中止 六年生になり日本一に向かって仲間と毎日の稽古にはげんでいました。そんな中、新型コロナウイルスは世界中に広がりそしてこの日本にまで。そのため道場が休館することになり、仲間たちとの稽古までなくなりました。先生に「絶対に腐るな！目標に向かって頑張れ！」と励ましていただきました。そして緊急事態宣言。その夜、ぼくの心に大きな穴がポッカーリ空いて涙が止まりませんでした。「どうしてぼくが六年生の時にこんな事が起こるんだよ！最悪だよ！ぼくだけが…ぼくだけが…」という思いで過ごしていました。そんな中、先生に作っていただいたトレーニングと毎日ひとつの質問に答えるという課題をこなしていくうちに、気持ちに変化が起きました。質問は、普段深く考えずに通り過ぎていた事でした。内容は、「剣道の魅力は何ですか？」「剣道を知らない人にどのように紹介しますか？」回答は「剣道が強くなるだけでなく体も丈夫になります。礼儀正しくなり、目配り気配りができるようになります。助け合える仲間ができます。」毎日、質問に向き合い答えていくうちに剣道への気持ちが熱くなっていきました。そして、館長先生がおっしゃっていた「稽古や合宿、大会に参加できるのは沢山の人の支えがあるからです。決して、一人でやっていると思わなくて、感謝をしよう」ぼくは感謝の心を忘れていたことに反省をしました。そんな中、自主トレーニングを始めようと近くの公園に行くと OB の高校生の先輩が一人でトレーニングをしていました。先輩は、ぼくに気が付き「頑張ろうな！」と声をかけてくれました。別の日、川の側の公園では中学生の先輩もトレーニングをしていて、「一緒にやろう！」と言ってくれました。ぼくは「はっ！」となりました。大会や稽古がなくなっても、先輩たちは腐ってなんかいなかったのです。しっかり前を向いて自分の道を進んでいました。今まで自分だけが不幸なんだと思っていたことととても恥ずかしくなりました。そして先生がおっしゃった「辛いのはみんな一緒だ！腐らず努力すればいつか自分に返ってくる！」という言葉思い出しました。そうだ！前を向こう！そして腐らず目標を持って進んで行こう！と思えるようになりました。

現在は先生が用意してくださった剣道用のマスクとマウスガードを付けて消毒と検温をして少しずつ稽古ができるようになりました。解脱錬心館の目標、それはぼくの人生の目標です。目指すは日本一、ただ強くなるだけでなく礼儀正しく、人としても日本一を目指す謙虚な心で、夢へ向かって突き進む向上心、仲間と心をつなぐ協調性、一瞬が勝負を分ける判断力、誰にも負けない闘争心、自分への甘さを断ち切る克己心、目標達成へ諦めない心、人の痛みがわかる思いやりの心、ぼくの剣道人生はまだまだです。先生方の教えを胸に、先輩方を目標に、そして感謝の心を忘れずに前を向いて頑張ります。

～お知らせ～

☆昇段おめでとうございます-----



七段 金井 裕 (OB)
(令和2年11月・東京武道館)

- | | | | |
|----|----------------------|----------------|--------------|
| 錬士 | 小林竜也 (専従) | 小野秀樹 (OB) | —令和2年・5月取得— |
| 錬士 | 丹治喜代美 (OB) | 大野美紀子 (OB) | |
| | 関根秀和 (OB) | 佐々木有美子 (OB) | |
| | 上野哲平 (OB) | | —令和2年・11月取得— |
| 五段 | 田中和弥 (OB) | 田中晃司 (OB) | —令和2年・11月取得— |
| 四段 | 新井伶奈 (OB) | | —令和2年・11月取得— |
| 二段 | 内村亜玖里・榎毛将希・田中 翔・土性紘大 | | |
| | 福永隆太 | 田中詩織・日置優里 (中三) | —令和2年・10月取得— |
| 初段 | 大野 峻 | 田中隆斗・樋口佳史・大西真尋 | |
| | 大野詩央 | 菊池恵美・寺内真子 (中二) | —令和2年・10月取得— |

☆入門おめでとうございます-----

- | | | | | |
|-------|------------|-----------|-----------|----------|
| 6月入門 | 小林優菜 (小1) | 浅野春馬 (年長) | 小林謙吾 (年長) | 田中想 (年長) |
| 7月入門 | 録澤奏佑 (年長) | | | |
| 10月入門 | 千葉恵玲奈 (年長) | 長山航大 (小3) | | |
| 12月入門 | 塩谷青葉 (小1) | 藤岡大喜 (小1) | | |

◎北本市スポーツ奨励賞・受賞



柳 菜々海 (高1)
昨年の全国大会
個人ベスト8

◎第42回埼玉県剣道大会中学女子の部



中学女子個人
準優勝 柳 瑠里 (中1)
(11月・県立武道館)

— 編集後記 —

今年は、目に見えないウイルスとの戦い。門下生諸君にとって辛く厳しい毎日ではありましたが令和2年も後わずかで終わろうとしています。この一年、門下生は今できる事を精一杯頑張りました。来年は、創立50周年の記念の年、希望に向けて頑張りましょう！今年も一般部の皆様、後援会保護者の皆様のご理解とご支援、ご協力を頂き、深く感謝申し上げます。来年も宜しくお願い致します。(Y)